

八田原大橋

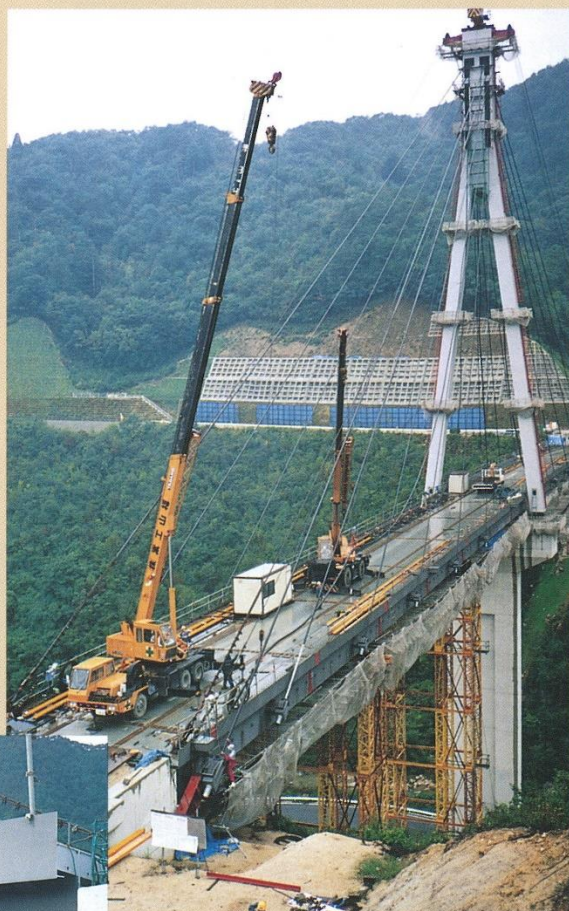
■八田原大橋

広島県の芦田川上流に、八田原ダムが建設されているが、本橋はダム完成後の付け替え道路の一部として、ダム湖の兩岸を結ぶ橋梁である。

湖上に架かる橋梁は、湖岸の景観を左右する大きな一要素となるので、構造的、経済性はもちろん、美観・景観の面からも十分検討された結果、橋長230m、支間割144.2+84.3m、塔高51.5mのA型タワーを有するマルチファンタイプの2径間連続鋼斜張橋が採用された。

ケーブルには、ポリエチレン被覆が施された平行線ケーブル（NEW-PWS）を用い、プレストレスの導入は長径間側端支点のジャッキダウンとケーブルの引込みを併用して行った。短径間側の端支点に生じる負反力に対処するため、箱桁内および桁間を密閉構造とし、その中にコンクリートを打設してカウンターウェイトとした。

架設工法は、短径間では手延べ機を用いた送り出し工法を、長径間では主塔を利用したケーブルクレーンを用いて、張り出し工法を採用した。



ケーブル取り付け

「片山鉄工所 50 年史」より抜粋

総務課（大阪駐在）の西村さんの協力のもとに作成した「片山が携わった構造物」の連載も、今回の 10 回目で最後となります。

せっかくOBの“交流の場”としてホームページを作ったのに、あまり活性化しないのは寂しいという思いから、この「お知らせ」欄に2020年2月より昔の写真などを中心に掲示をしてきましたが、それも今回の掲示で終了となります。

本来は、私が退職する9月30日で「掲示」を終える計画でしたが、片山ストラテックの「掲示」が少ないことを気にしていたところ、西村さんから「片山鉄工所50年史」の特集記事の転載というアイデアを9月初頭にいただきました。

そこで、退職日までに数件をまとめて同日に掲示することも考えたのですが、10月5日以降に5日ピッチで本日まで掲示することにしました。

なお、「お知らせ」欄に9月8日以降に掲示したものは、9月4日までに作成していたものであり、「掲示予約」していたもので、短期のタイムカプセルのようなものですね。

2020年9月4日
塚本 慎一